

市民タイムス



松本一本ねぎギョーザに

自ら栽培 中山小児童が料理

松本市の中山小学校の3、4年生計40人は27日、本年度栽培学習に取り組んだ松本市の伝統野菜「松本一本ねぎ」を具材に使ったギョーザ作りを楽しんだ。地元の生産者や食品会社の協力を得て、学習への理解を深めた。学校近くの畑でこのほど収穫した一本ねぎをふんだんに使って焼きギョーザを仕上げる松本一本ねぎをふんだんに入れたギョーザを作る児童たち

た。JA松本市ねぎ部会長の青木秀夫さん(74)と妻の京子さん(72)は筑摩2、一本ねぎの冷凍ギョーザを製造している信栄食品(並柳4)が指導に当たった。児童たちは涙目になりながらもねぎを黙々と刻み、昨年度に続き学習に取り組んだ4年生の永井澤君は「熱を通すと甘くておいしくなるのが一本ねぎ」と焼き上がりを楽しみにしていた。地元生産者・団体が実施主体となつて児童の学びを支える市の地産地消食育推進事業の一環で、本年度は市内7校で一本ねぎの栽培学習が行われている。(横内里美)